

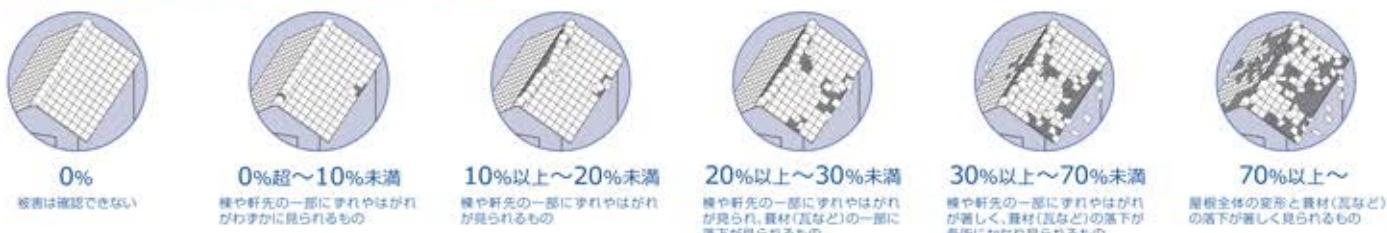
# 被害認定用パターンチャート (モルタル壁面用)

DATTS Damage Assessment Training System

## 被害程度の目安 (数字は損傷部分の割合)

内閣府の被害認定基準による被害程度の目安		無被害	一部被害	半壊	大規模半壊	崩壊以外	全壊	倒壊
被害の特徴		被害なし	亀裂・剥落が発生 瓦のずれや落下が発生	傾斜1/60rad~ 柱や梁が折れる 小屋組が壊れる	亀裂・剥落が顕著 瓦の大部分が落下	傾斜1/20rad以上 基礎が破壊 建物にゆがみが生じる		ある階が潰れる 瓦礫状態になる
被害イメージ 上部構造被害	屋根被害型 屋根瓦が大部分剥落するなどの被害							
	2階被害型 2階の被害が1階より大きい							
	1階被害型 1階の被害が2階より大きい最も典型的な被害							
	全体被害型 1階、2階ともに同程度の被害を受ける							
	基礎被害型 基礎が割れ、陥没や沈下が見られる							
被害イメージ 地盤被害	地盤破壊 ●上部構造の被害が卓越する場合は上部構造のチャートを使用する							
	液化 ●上部構造の被害が卓越する場合は上部構造のチャートを使用する							
建物価値の損失の目安 (内閣府基準に対する被災割合の目安)		0%	0~20%	20~40%	40~50%	50%以上		
内閣府の被害認定基準による補修判断の目安		補修・再使用可能				補修困難・修復不可能		

## 屋根の損傷の様子 (数字は損傷部分の割合)



## 壁の損傷の様子 (基礎被害を含む/数字は損傷部分の割合)



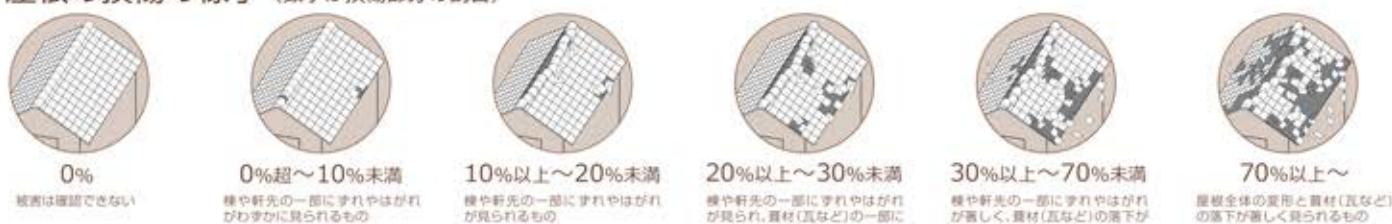
# 被害認定用パターンチャート (ボード壁面用)

DATTS

## ■ 被害程度の目安 (数字は損傷部分の割合)

被害の特徴	無被害	一部被害	半壊	大規模半壊	崩壊以外	全壊	崩壊	
	被害なし	亀裂・剥落が発生 瓦のすれや落下が発生	傾斜1/60rad~ 柱や梁が折れる 小屋組が壊れる	亀裂・剥落が顕著 瓦の大部分が落下	傾斜1/20rad以上 基礎が破壊	建物にゆがみが生じる	ある階が潰れる 瓦礫状態になる	
屋根被害型 屋根瓦が大部分剥落するなどの被害								
2階被害型 2階の被害が1階より大きい								
1階被害型 1階の被害が2階より大きい最も典型的な被害								
全体被害型 1階、2階ともに同程度の被害を受ける								
基礎被害型 基礎が割れ、陥没や沈下が見られる						 基礎の破壊	 建物全体に亘る	
被 壊 イ メ ー ジ 上部構造被害								
地盤被害 ●上部構造の被害が卓越する場合は上部構造のチャートを使用する						 上部構造の被害を伴う地盤被害		
液化化 ●上記構造の被害が卓越する場合は上部構造のチャートを使用する			 傾斜1/100~1/50rad (不均沈下を伴う)	 傾斜1/50~1/20rad (不均沈下を伴う)	 傾斜1/20以上 (不均沈下を伴う)	 地下による盛り込み 基盤天端下25cmまで (0.2m)	 スラブによる盛り込み 床まで (0.5m)	 床下による盛り込み 床以上 (1.5m)
建物価値の損失の目安 (内訳賃借に対する補修費用の割合)	0%	0~20%	20~40%	40~50%	50%以上			
内訳の被害認定基準による補修判断の目安						補修・再使用可能	補修困難・修復不可能	

## ■ 屋根の損傷の様子 (数字は損傷部分の割合)



## ■ 壁の損傷の様子 (基礎被害を含む/数字は損傷部分の割合)

